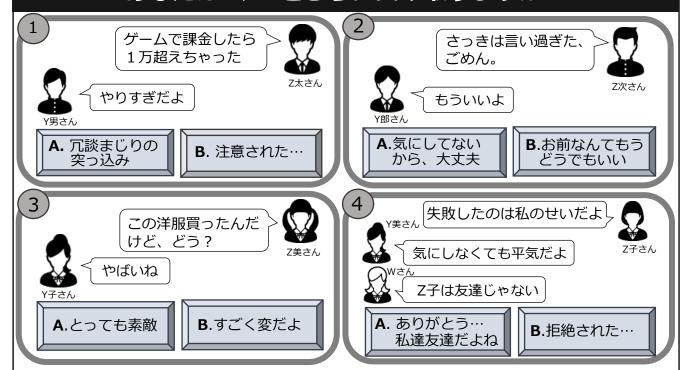
The Courity Information Vol. 3

SNS上の言葉は誤解を生みやすい

あなたはA、Bどちらに受け取りますか?



SNSでは、相手の顔が見えず声も聞こえないため、<u>自分の真意が伝わりにくい</u>という特徴があります。

つまり、同じ言葉でも人によって受け取り方が違うため、Aのように肯定したり、軽い 冗談を言ったりしたつもりでも、相手側にとってはBのように「非難された」、「悪口を言わ れた」などと違う意味に受け取られてしまい、他人を傷つけてしまう恐れがあります。

SNSだけでコミュニケーションを取ることは、実はとても難しいのです。 また、言葉を切り取ることで、印象が変わってしまうこともあります。

送信する前に内容を読み返そう。

A君はあるインタビューで このように答えました

サッカー部の練習はつらい。 だけど、上達していくのが嬉

しいし、やりがいがある。

プラスな印象

例えば

言葉を切り取ると

ところが、掲載されたのは こんな内容でした

サッカー部の練習はつらい。

マイナスな印象に



このように、情報の表面(動画やニュースのタイトル等)だけを見て判断してしまうと、 事実とは違う印象を与えてしまうことにもつながります。

SNS上で相手にメッセージを送るときや投稿するときは、言葉を省略したり、切り取ったりしないこと、そして絵文字や「!」「?」マークを使用する、ポジティブな言葉を選ぶなど、誤解を与えない内容であるかをよく確認してから、慎重に送信、投稿するようにしましょう。